

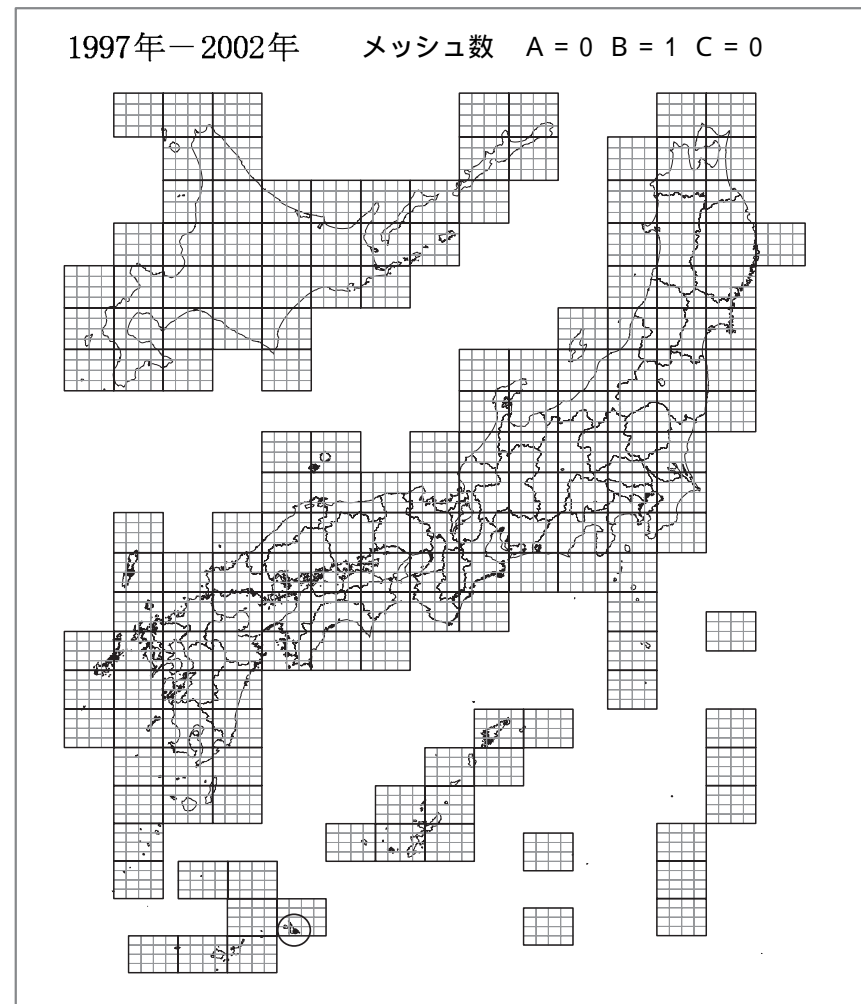
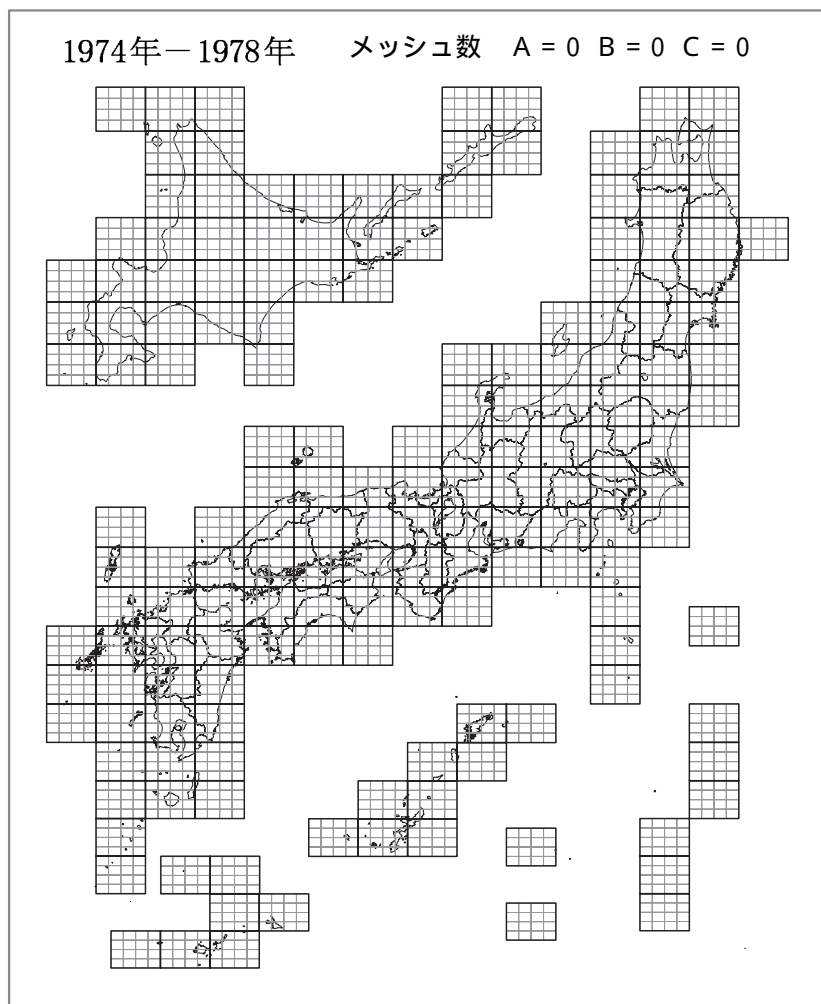
クロアジサシ

(分類) チドリ目カモメ科 *Anous stolidus*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 小笠原、硫黄列島、南鳥島などの亜熱帯域の島嶼で夏鳥。それ以外では迷鳥。熱帯～亜熱帯に広く分布。

(生態) 外洋の島で岩礁や草地に直接1卵を産み、集団で繁殖する。ダイビングしておもに魚類をとる。



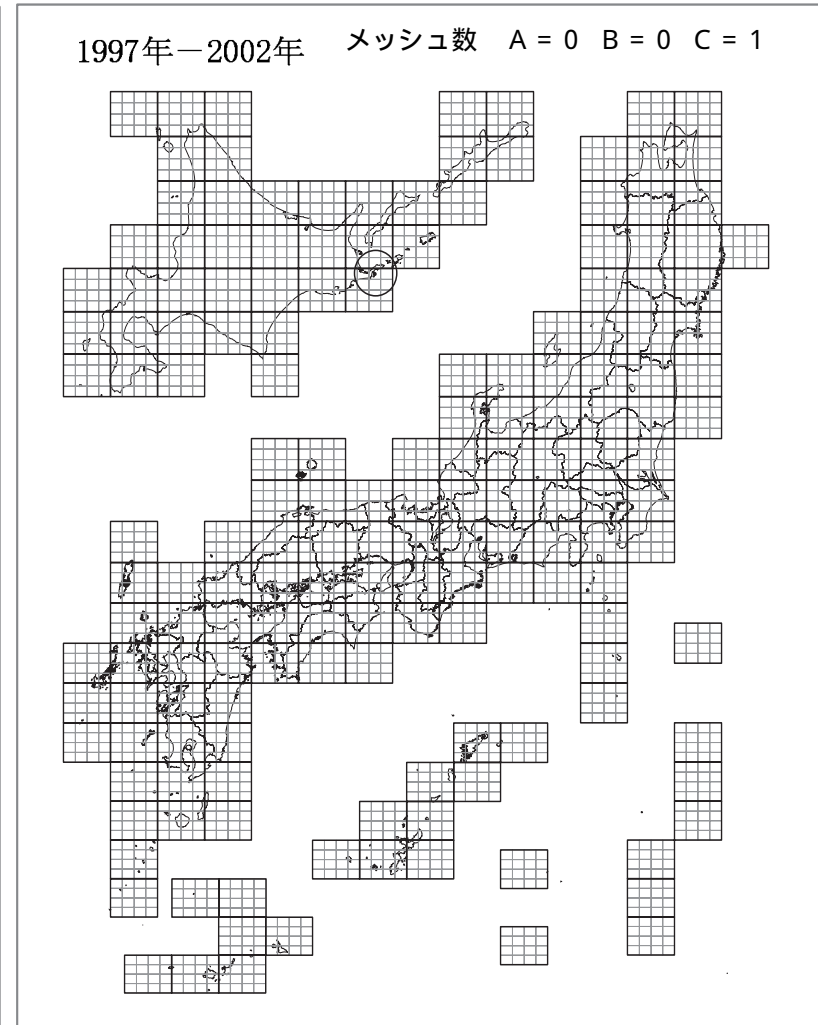
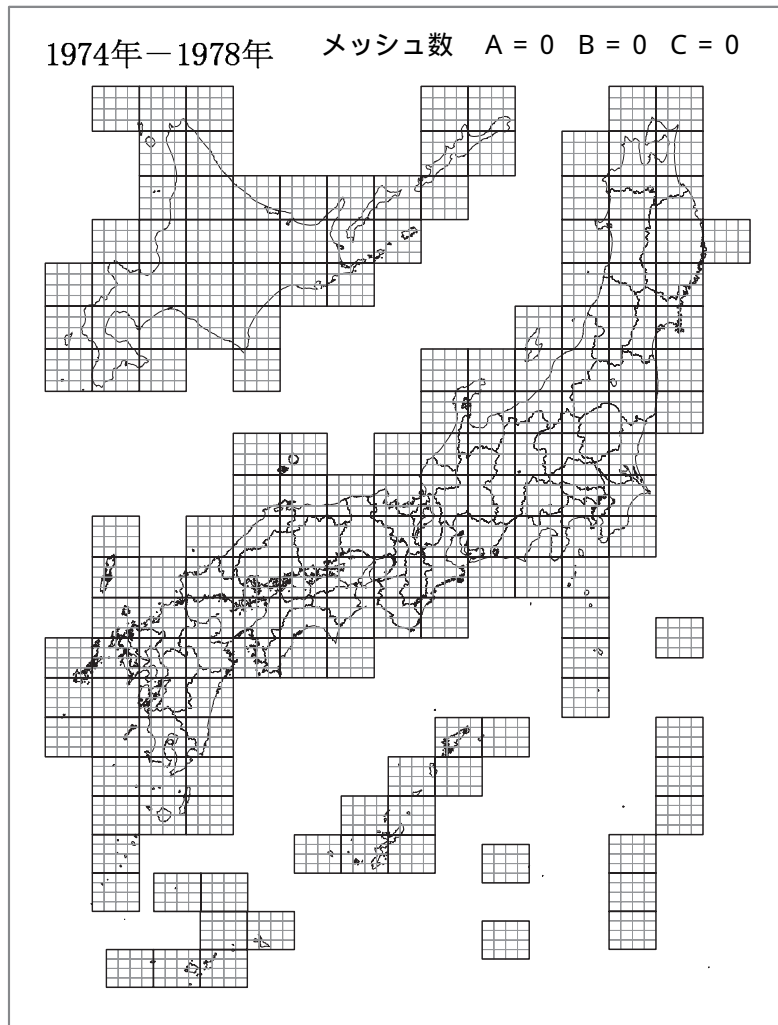
ウミガラス

(分類) チドリ目ウミスズメ科 *Uria aalge*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 A類

(分布) 北海道天売島では、かつて多数が繁殖していた。本州中部以北の海上で越冬。北洋に広く分布。

(生態) 6月頃に集団で海岸の崖の岩棚に営巣する。1卵を32日前後抱卵する。ヒナは飛べるようになる前に海に飛び込み、雄親から海上で世話を受ける。



ケイマフリ

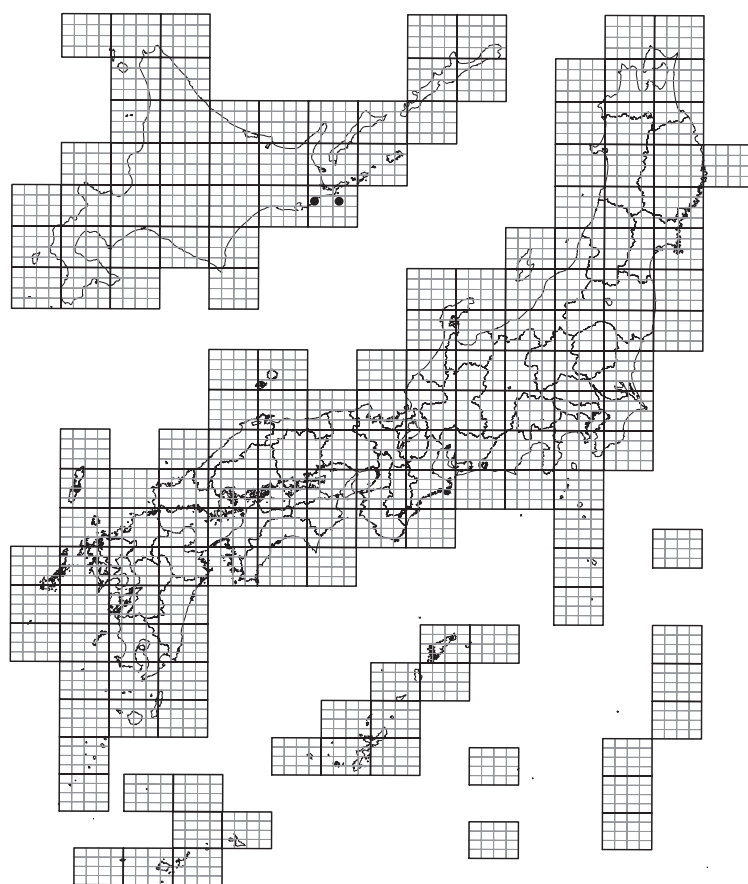
(分類) チドリ目ウミスズメ科 *Cephus carbo*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 類

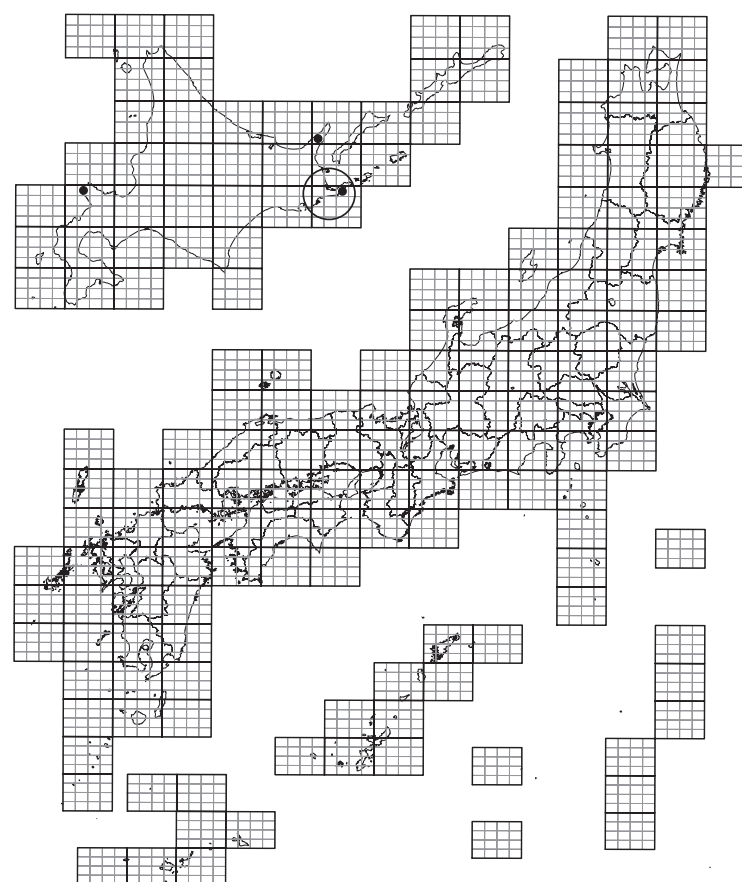
(分布) 北海道の半島や島嶼で繁殖。おもに本州中部以北の沿岸域で越冬。ユーラシア極東部の沿岸域に分布。

(生態) 5月頃岩のすき間などに2卵を産む。7月頃に通常1羽が巣立つ。8月中旬頃繁殖地を離れて沖に出る。潜水して小魚や甲殻類を食べる。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 2 B = 0 C = 0



1997年－2002年 メッシュ数 A = 3 B = 0 C = 1



カムリウミスズメ

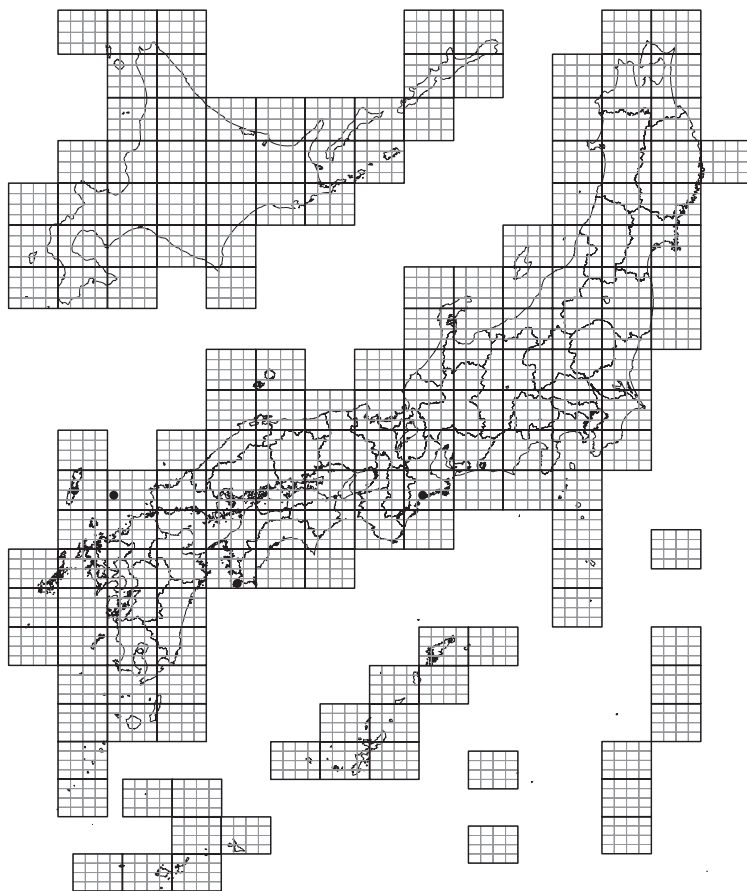
(分類) チドリ目ウミスズメ科 *Synthliboramphus wumizusume*

(環境省 RDB 種) 絶滅危惧 類

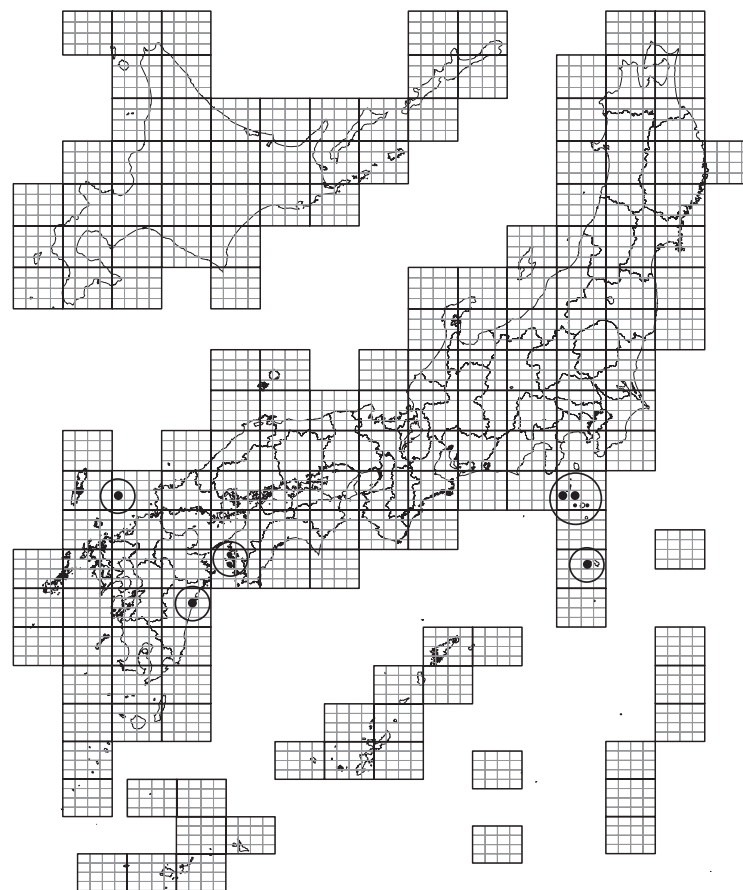
(分布) 日本沿岸と沖合の島嶼、韓国南部の小島で繁殖。日本近海の固有種。

(生態) 海崖や急斜面の岩のすき間などに集団営巣する。4月頃から2卵を雌雄交代で約1か月間抱卵する。ふ化したヒナは飛べるようになる前に海に入る。潜水して魚を捕る。推定個体数は5,000～6,000羽ほどで、カラスやネズミなどによる捕食の影響があるとされている。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 3 B = 0 C = 0



1997年－2002年 メッシュ数 A = 5 B = 2 C = 2



ウトウ

(分類) チドリ目ウミスズメ科 *Cerorhinca monocerata*

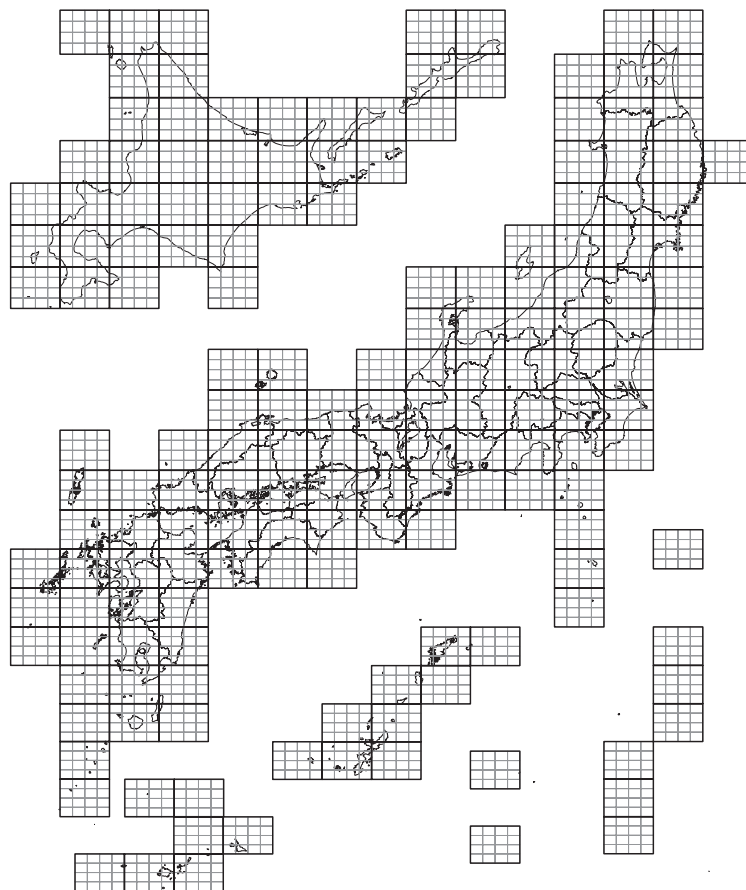
(環境省 RDB 種) -

(分布) 北海道や本州北部の島嶼で繁殖。冬は東北や北陸の海上でも越冬。北太平洋の温帯以北に広く分布。

(生態) 海に面した傾斜地の草地や岩の間に巣穴を設けて営巣する。天売島では4月頃1卵を産み、5月頃ふ化したヒナは7月頃巣立つ。

潜水してイカナゴなどの小魚やイカ類をとる。

1974年－1978年 メッシュ数 A = 0 B = 0 C = 0



1997年－2002年 メッシュ数 A = 1 B = 1 C = 1

